

# 放課後等デイサービス キッズボンド守口 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			児童2.5人に対して、指導員を1名配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日、ミーティングを行い、職員からの意見を聞いている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者への評価表の配布のほか、LINEや電話での連絡を密に取っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			市の福祉課や相談支援専門員の意見を取り入れている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月研修会を実施している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			相談支援専門員との連携を取り、支援計画書を作成している。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			キッズボンドグループで、テンプレートがあり、そちらを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			原案を担当者が考え、職員間の話し合いで決定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			職員で意見を出し合ったり、調べたりするなど工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			児童の負担を考えて、平日と学校休業日の内容を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			一人ひとりの個性を踏まえて作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			受入れ前ミーティングを必ず行い、担当する児童を決めて支援をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員全員が意見を出し合い、改善していくようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の個人記録を児発管がまとめ、検証、改善をしている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			原則として、半年に一度のモニタリングを行っているが必要がある場合は、他の時期にも実施をしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			地域交流、おでかけ、食育、制作を柱とした支援を実施している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当会議を開催していただけないので、行政への働きかけをしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		保護者とは、連絡帳やLINE、電話を通し、学校とは必要に応じて連絡を取り合ったり、話し合う場を設けている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在は必要な子どもの利用が無い。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	児童発達事業所とは密に連絡を取り合っているが、保健所との連携はとれていないので、今後行っていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	学校を卒業し、障害福祉サービス事業所へ移行する児童は、今のところいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	児童発達センターとの連携がまだ出来ないため、今後行っていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			地域の行事や児童館での行事、運動等の活動に参加している。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	今はしていないが、今後参加ができるかを、働きかけていく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の連絡や送迎時などを通じ、共通理解を持っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	電話や連絡帳、送迎時を通じてレスパイトケアを実施しているが、まだ十分ではない。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			事業所内や電話、時には訪問し、助言している。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者の意見も確認し、実施するかを検討する。（どのように実施するか）

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合には、指導員が、管理者、児発管に報告し、保護者と面談するなど、迅速な対応を行っている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、通信を月初めに発行し、保護者に配布、HPにアップし、活動の様子を伝え、翌月の活動予定表も配布している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			重要書類はかぎ付書庫に厳重に保管している、HP上写真には、モザイクをかけている
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			あいまいな表現は使わず、場合によっては視覚化し、意見の疎通を図っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域住民が参加するようなイベントをまだ行っていないので今後検討し、実施する。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			書類にして周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	本格的には実施できていないので、今後検討していく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			今後の研修内容に取り入れていくようにする。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束について、保護者に説明し、また、運営規定にも記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	医師の指示書は取っていないので、今後対応していく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所内だけではなく、グループ全体で共有している。